



SPICA からの挑戦状

2024年 掲載
No.2 問題



Eメール: spica_info@waseda-ac.co.jp (送信先)

問題

A、B、C、D、E、F、G、H、I には 1、2、3、4、5、6、7、8、9 の異なる数が当てはまります。3桁の整数 ABC、DEF、GHI はすべて 11 の倍数です。また、3桁の整数 ADG は 3 の倍数、BEH は 8 の倍数、CFI は 3 の倍数であるとき、3桁の整数 ADG として考えられる数をすべて答えなさい。ただし、11 の倍数判定法が以下であることを使用しても構いません。

「11 の倍数判定法」

この数を下の位から見て「奇数番目にある桁の和」と「偶数番目にある桁の和」の差を計算すると 0 または 11 の倍数となります。例えば、132 は $(1+2)-3=0$ 、418 は $(4+8)-1=11$ となるので、132 と 418 はともに 11 の倍数です。

解答欄

解き方※欄が足りない場合は別紙にご記入いただき送付をお願い致します。

住所 〒	-	TEL	-	-
		FAX	-	-
ふりがな	学年	応募回数		
氏名	小3・小4・小5・小6	回		



【個人情報の利用目的】

ご記入いただいた個人情報は、各種講座・模試・イベントなどに関する情報をお知らせするために利用させていただきます。また、社内の研究開発、資料作成などに利用させていただく場合がございます。